

○計画期間:令和7年4月～令和 12 年3月(5年)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和7年度終了時点(令和8年3月 31 日時点)の中心市街地の概況

令和 7 年 4 月に策定した第 4 期計画においては、ミライエ長岡を中心に多様な人や企業の交流を促進し、そこから生まれるイノベーションによる新たなビジネスチャンスの創出を図るとともに、職住近接につながるまちなか居住の促進、数々のソフト事業など様々な施策を引き続き一体的に進め、これまでの歩みを止めることなく、その効果や成果を市域全体に「ひろげる」ことで、未来に繋がるまちづくりを進めている。

居住人口は、市域全体の人口が減少しているなかで、中活区域は維持している。暮らしやすい環境が整い、マンション建設などの民間投資が続いており、市街地への居住意向を受け止めている。

地価は、平成 4 年をピークに急激に下落したが、近年は微減傾向で推移している。最新の調査では、下げ止まりの傾向を示している。

歩行者通行量は、平成元年から大きく減少したが、平成 24 年のアオーレ長岡の開設などを経て、取り組みの成果が見える。コロナ禍の影響により減少したが、近年では先行オープンしたミライエ長岡の効果で上向いている。

今後は、令和 8 年 11 月のミライエ長岡グランドオープンを契機として、更なる活性化に取り組むことが求められる。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(1) 居住人口

(基準日：毎年度 3 月 31 日)

(中心市街地 区域)	令和 6 年度 (計画前年度)	令和 7 年度 (1 年目)	令和 8 年度 (2 年目)	令和 9 年度 (3 年目)	令和 10 年度 (4 年目)	令和 11 年度 (5 年目)
人口 (前年比)	5,488 (98.6%)	5,466 (99.6%)				
人口増減数	-79	-22				
自然増減数	-74	-62				
社会増減数	-5	+40				
転入者数	233	271				
全市人口 (前年比)	253,871 (98.9)	250,869 (98.8%)				

(2) 地価

(基準日：毎年度1月1日 / 単位：円/㎡)

	令和6年度 (計画前年度)	令和7年度 (1年目)	令和8年度 (2年目)	令和9年度 (3年目)	令和10年度 (4年目)	令和11年度 (5年目)
平均変化率 (4地区合計)	515,400 99.5%	513,200 99.6%				
大手通 1-4-3	228,000 100.0%	228,000 100.0%				
台町 2-2-8	99,800 98.8%	98,600 98.8%				
殿町 2-2-6	88,000 98.7%	87,000 98.9%				
表町 1-9-12	99,600 99.6%	99,600 100.0%				

2. 令和7年度取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

第4期計画の初年度となる令和7年度においては、新規18事業を含む全65事業が順調に実施されており、計画に基づき着実に進捗していると評価する。

令和8年11月の「米百俵プレイス」の東館完成を契機として、まちなかの活性化が今後さらに加速していくことが期待される。

目標指標①「まちで『起業する人』を増やす」については、5年間の累計目標起業件数36件を達成するペースとほぼ同数の年間7件となっており、堅調に推移しているものと評価できる。

目標指標②「まちに『集う人』を増やす」について、「中心市街地内の公共施設利用者数」は、目標値の87%に到達していることから、順調に推移しているものと評価できる一方、「中心市街地内の居住人口」は、令和5年度の基準値から減少しており、今後は働く場所の確保に向け、新たな都市型産業の集積を図り、官民一体となって再開発やオフィス誘致の機運を高めていただきたい。

目標指標③「まちを『歩く人』を増やす」については、大手通交差点より西側の公共公益施設利用者数が飛躍的に増大するなど確実に人流が生まれ、既に目標値の99%に到達しており、着実に推移しているものと評価できる。

当協議会では、「まちづくり部会」の運営を通じて、まちに住み、働き、活躍する人々と情報を共有し、まちなかで活動する人材や新しい取り組みを行っている若者への支援をより一層推進し、まちなかの賑わい創出を図っていきたい。

Ⅱ. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況※1	目標達成に関する見通し※2	
						前回の見通し	今回の見通し
①まちで「起業する人」を増やす	① 中心市街地内の起業数 (件/5 年)	29 (R1-R5)	36 (R7-R11)	7 (R7)	B	—	A
②まちに「集う人」を増やす	②-1 中心市街地内の 居住人口(人)※1	5,567 (R5)	5,585 (R11)	5,466 (R7)	C	—	A
	②-2 中心市街地内の 公共施設利用者数 (万人/年)	143.3 (R5)	196.3 (R11)	171.1 (R7)	B	—	A
	(参考指標) うち大手通交差点より 西側(万人/年)	48.5 (R5)	74.9 (R11)	52.4 (R7)			
③まちを「歩く人」を増やす	③ 大手通交差点より 西側の歩行者 ・自転車通行量 (平日)(人/日)※2	17,854 (R5)	18,820 (R11)	18,731 (R7)	B	—	A
(共通)	(参考指標) 中心市街地で活動や 交流することが増えた 市民の割合(%)※3	20.6 (R5)	24.2 (R10)	—	—	—	—

※1 各年3月末現在の値

※2 大手通交差点より西側の8地点による平日(10月)13時間の歩行者・自転車通行量の合計値

※3 5年に1回の市民アンケート調査の値(最新値は計画期間の最終年度R11の前年度R10に実施予定)

<基準値からの改善状況(※1)>

最新値が基準値や目標値と比較してどうであるかで判断

A: 目標達成、B: 基準値より改善、C: 基準値に及ばない

<目標達成に関する見通しの分類(※2)>

計画終了時の数値が、基準値や目標値と比較してどのような見通しかで判断

A: 目標達成が見込まれる

B: 目標達成が見込まれないが基準値を上回ることが見込まれる

C: 目標達成及び基準値を上回ることが見込まれない

※「<基準値からの改善状況(※1)>」、「<目標達成に関する見通しの分類(※2)>」ともに、関連する事業等の進捗状況が順調でない場合は、英字を小文字にして下線を引いて下さい。(例: a、b、c)

2. 目標達成見通しの理由

令和7年度の中心市街地内における起業数は7件で、順調に推移している。市内4大学1高専、長岡商工会議所、長岡市による「NaDeC構想」に基づく段階的な起業支援事業「ファーストペンギンプログラム」や、女性や若者向けの起業イベントを継続して実施し、老若男女が起業しやすいサポート体制を整えることで、目標達成が見込まれる。

令和6年度から令和7年度にかけてマンション供給がなかったため、居住人口が減少しているが、令和8年度以降はマンション供給が予定されている。引き続き「まちなか建物更新等支援事業」や「まちなか居住区域定住促進事業」などの支援制度を継続し、中心市街地に転入・転居しやすい環境整備することで、目標達成が見込まれる。

令和7年度の公共施設利用者数は171.1万人で、令和5年度のミライエ長岡の先行オープン以降は順調に推移している。引き続き「アオーレ長岡活用事業」や「トモシア交流支援事業」を継続するとともに、令和8年度にグランドオープンするミライエ長岡を拠点に様々な活動や交流を促すことで、目標達成が見込まれる。

令和7年度の歩行者通行量は18,731人で、順調に推移している。引き続き「大手通坂之上町地区第一種市街地再開発事業」によるミライエ長岡の整備などに取組むことで、目標達成が見込まれる。

3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

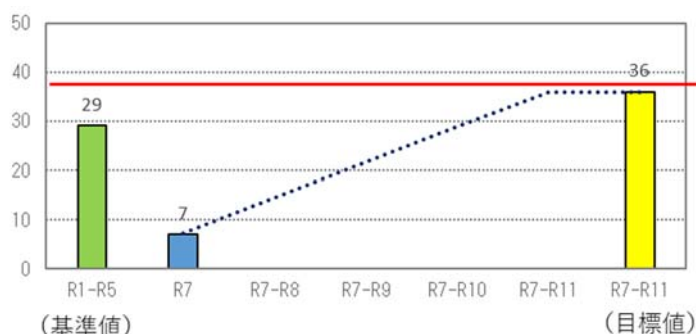
今回が初回のフォローアップのため、前回のフォローアップは実施していない。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1) 「目標指標① 中心市街地内の起業数（5年間の累計）」

※目標設定の考え方認定基本計画 P. 30～P. 31 参照

●調査結果と分析



目標値
36件/5年
※R7～R11

年	(単位：件)
R1- R5	29 (基準年値)
R7	7
R8	
R9	
R10	
R11	
R7- R11	36 (目標値)

※調査方法：長岡市、ながおか・若者・しごと機構及び起業支援センターながおか相談者へのヒアリング

※調査月：平成31年4月～令和7年3月の5年間の累計（毎年度3月末調査）

※調査主体：長岡市

※調査対象：中心市街地区域内での起業家

〈分析内容〉

令和7年度の中心市街地内における起業数は7件で、順調に推移している。市内4大学1高専、長岡商工会議所、長岡市による「NaDeC構想」に基づく段階的な起業支援事業「ファーストペンギンプログラム」や、女性や若者向けの起業イベントを継続して実施し、老若男女が起業しやすいサポート体制を整えることで、起業数の増加に寄与している。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

- ①. 7-8 NaDeC推進事業（事業実施主体名：NaDeC 構想推進 Consortium、市内4大学1高専、長岡商工会議所、長岡市）

事業実施期間	令和5年度～【実施中】
事業概要	ミライエ長岡の NaDeC BASE において、産学官金が連携して共同研究や起業支援を実施する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業 令和7年4月～令和12年3月
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】35件／5年（R7～R11） ・中心市街地内の起業数（5年間の累計） ・本事業により年間相談件数は令和5年度と同様に350件/年、中心市街地内での起業件数割合は2.0%を維持 ・事業効果：年間相談件数350件/年×5年×2.0%＝35件/5年

	【最新値】 7 件／5 年（R7～R11） ・ 単年の目標値と実績値 <table><tr><td></td><td>目標値</td><td>R7</td><td>R8</td><td>R9</td><td>R10</td><td>R11</td><td>累計</td></tr><tr><td>起業件数 中活</td><td>7 件</td><td>7 件</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>7 件</td></tr><tr><td>起業件数 全市</td><td>25 件</td><td>35 件</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>35 件</td></tr><tr><td>相談件数</td><td>350 件</td><td>306 件</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>306 件</td></tr><tr><td>起業割合</td><td>2.0%</td><td>2.8%</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2.8%</td></tr></table> ※起業割合＝中活区域の起業件数÷相談件数 【進捗状況】 ・ 中心市街地活性化計画における起業数及び市内全域での起業数は目標値を超えた。相談件数は少ないものの、その他起業スクール等へ参加した方の起業が例年より多かったため、今後も各種セミナーを充実させたい。 ・ 相談件数は目標値に届かなかった。今後、起業関連イベントへ参加した後のアフターフォローとしての起業相談を周知し、起業関心層の利用促進を目指す。 ・ 起業割合は目標値を超えており、各種セミナー参加者が実際に起業する事例が多くみられたことが理由と思われる。今後も、過去の実績を参考としながら効果的な支援に努めていく。		目標値	R7	R8	R9	R10	R11	累計	起業件数 中活	7 件	7 件					7 件	起業件数 全市	25 件	35 件					35 件	相談件数	350 件	306 件					306 件	起業割合	2.0%	2.8%					2.8%
	目標値	R7	R8	R9	R10	R11	累計																																		
起業件数 中活	7 件	7 件					7 件																																		
起業件数 全市	25 件	35 件					35 件																																		
相談件数	350 件	306 件					306 件																																		
起業割合	2.0%	2.8%					2.8%																																		
事業の今後について	・ 引き続き事業を継続するとともに、新規利用や利用促進のためのイベントの実施と、ミライエ長岡で行われるイベントとのコラボレーション企画などで、高校生など若年層からシニア層まで幅広い利用者の確保を目指す。																																								

②. 7-9 学生起業家育成事業（事業実施主体名：長岡市、長岡商工会議所、起業支援センターCLIP 長岡、市内金融機関）

事業実施期間	平成 30 年度～【実施中】
事業概要	NaDeC BASEをメイン会場に、産学官の関係団体と力を合わせ、学生等の起業創業のサポートを行う。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業 令和 7 年 4 月～令和 12 年 3 月
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】 16 件／5 年（R7～R11） ・学生起業家育成事業の事業件数（5 年間の累計） ・平均事業件数：3.2 件/年 ・中心市街地での起業実現割合：2.0% ・事業効果：3.2 件/年×5 年×2.0% ÷ 起業件数 0.32 件/5 年

	※平均事業件数は、R1～R5 の5年間の平均を算出 ※フォローアップにおいては、事業件数から起業件数を測れないため、事業件数を目標値として評価する。 【最新値】 3件／5年（R7～R11） ・単年の目標値と実績値 <table><tr><td></td><td>目標値</td><td>R7</td><td>R8</td><td>R9</td><td>R10</td><td>R11</td><td>累計</td></tr><tr><td>事業件数</td><td>3.2 件</td><td>3 件</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>3 件</td></tr></table> 【進捗状況】 ・事業件数は、目標値にわずかに届かなかった。学生起業家育成補助金の採択者が少ないことが問題であり、ポスター掲出による周知期間が短かったことが一因と考える。令和8年度以降は周知の強化に取り組み、補助金採択者の増加を目指す。 ・起業に向けた機運醸成の取り組みを、4 大学 1 高専をはじめとする関係機関との連携を図りながら継続的に行うことで、起業を志す学生が着実に増加している。		目標値	R7	R8	R9	R10	R11	累計	事業件数	3.2 件	3 件					3 件
	目標値	R7	R8	R9	R10	R11	累計										
事業件数	3.2 件	3 件					3 件										
事業の今後について	・関係機関との連携を継続、強化しながら、若者がチャレンジしやすい環境整備や、起業家コミュニティの形成など、成長段階に応じた支援を進め、学生起業家の集積が図られるよう後押しを行っていく。																

③. 7-26 若者提案プロジェクト実現事業（事業実施主体名：ながおか・若者・しごと機構）

事業実施期間	平成 27 年度～【実施中】
事業概要	高校生以上の学生及び若者のアイデアの実現を図るため、プロジェクトの実施主体に補助金を交付し、プロジェクトの実現を支援する。
国の支援措置名及び支援期間	なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】 22 件／5年（R7～R11） ・若者提案プロジェクト実現事業の事業件数（5年間の累計） ・平均事業件数：4.4 件/年 ・中心市街地での起業実現割合：2.0% ・事業効果：4.4 件/年×5年×2.0% ≒ 起業件数 0.44 件/5年 ※平均事業件数は、R1～R5 の5年間の平均を算出 ※フォローアップにおいては、事業件数から起業件数を測れないため、事業件数を目標値として評価する。 【最新値】 8件／5年（R7～R11）

	・単年の目標値と実績値						
	目標値	R7	R8	R9	R10	R11	累計
	事業件数	4.4 件	8 件				8 件
事業の今後について	【進捗状況】 ・事業件数が目標値より増加した。既存の若者提案プロジェクト補助金に加えて、第4期計画から学生チャレンジ事業補助金をこの事業に含めたことで事業件数が増加した。						
	・高校生など、若年層への支援を強化していきたい。						

●目標達成の見通し及び今後の対策

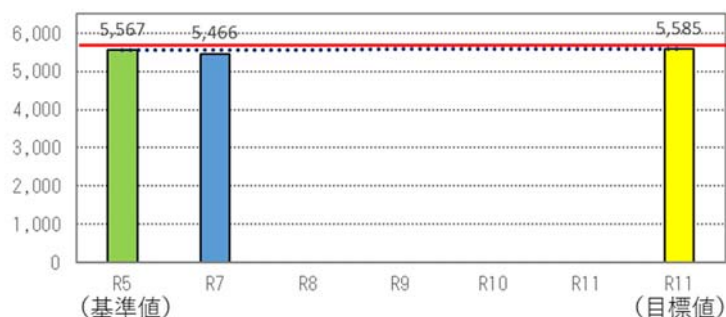
令和7年度の中心市街地内における起業数は7件で、順調に推移している。市内4大学1高専、長岡商工会議所、長岡市による「NaDeC構想」に基づく段階的な起業支援事業「ファーストペンギンプログラム」や、女性や若者向けの起業イベントを継続して実施し、老若男女が起業しやすいサポート体制を整えることで、目標達成が見込まれる。

今後は、未来を担う若者たちの個性や未来への可能性を引き出し、若手起業家をはじめチャレンジしたいと思う人を支援することで、イノベーションを起こし、新たな活動の効果を市内全体に波及させる。

(2)「目標指標②-1 中心市街地内の居住人口（各年度3月末日）」

※目標設定の考え方認定基本計画 P. 32～P. 33 参照

●調査結果と分析



年	(単位：人)
R5	5,567 (基準年値)
R7	5,466
R8	
R9	
R10	
R11	
R11	5,585 (目標値)

※調査方法：住民基本台帳

※調査月：各年度3月末時点

※調査主体：長岡市

※調査対象：中心市街地区域内の居住人口

〈分析内容〉

令和7年度の中心市街地内の居住人口は5,466人で、基準年から101人減少している。これは、自然減の影響に加えて、民間事業者によるマンション供給が令和6年度から令和7年度にかけてなかったため、「まちなか居住区域定住促進事業」の利用促進に繋がらなかったことが、主な要因と考えられる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

- ①. 4-12（再掲6-6） まちなか建物更新等支援事業（事業実施主体名：まちづくりを目指す団体、民間事業者、長岡市）

事業実施期間	平成28年度～【実施中】
事業概要	老朽建築物や空き地の共同化による市街地環境の整備・改善を行う事業者に対して事業費の一部を支援する。
国の支援措置名及び支援期間	なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】102人／5年（R7～R11） ・事業効果：「まちなか建物更新等支援事業」により供給されるマンションの入居者：60戸×平均世帯人員1.7人＝102人 ※60戸は、中心市街地区域内の新築マンション供給戸数（直近4棟の平均） ※平均世帯人員1.7人は、中心市街地区域内の1世帯当たり人口（R5） 【最新値】0人／5年（R7～R11）

	・単年の目標値と実績値 <table><tr><td></td><td>目標値</td><td>R7</td><td>R8</td><td>R9</td><td>R10</td><td>R11</td><td>累計</td></tr><tr><td>居住人数</td><td>102 人</td><td>0 人</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table> 【進捗状況】 ・令和7年度の時点では、マンション供給に至っていない。 ・1 地区では、令和7年度は実施設計と除却工事の着手、令和8年度は建設工事に着手、令和 10 年度中に竣工を目指している。		目標値	R7	R8	R9	R10	R11	累計	居住人数	102 人	0 人					○
	目標値	R7	R8	R9	R10	R11	累計										
居住人数	102 人	0 人					○										
事業の今後について	・支援制度を継続し、民間の建替え需要を逃さずに市街地環境の整備と改善を促進したい。																

②. 6-4 まちなか居住区域定住促進事業（事業実施主体名：長岡市）

事業実施期間	平成 30 年度～【実施中】																
事業概要	まちなかへの転入・転居者が住宅を購入等して居住する場合、固定資産税を免除する。																
国の支援措置名及び支援期間	なし																
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】36 人／5 年（R7～R11） ・まちなか居住区域定住促進事業による居住人数の累計 ・「まちなか居住区域定住促進事業」等の効果により中心市街地へ入居する世帯 4 世帯/年×5 年＝20 世帯/年 ・世帯人員：1.8 人 事業効果：20 世帯×1.8 人＝36 人 ※4 世帯/年は、「まちなか居住区域定住促進事業」を活用した中心市街地区域内の転入世帯の平均（R1～R5 の5年間） ※世帯人員：1.8 人は、「まちなか居住区域定住促進事業」を活用した中心市街地区域内の転入世帯の平均世帯人員（R1～R5 の5年間） 【最新値】0 人／5 年（R7～R11） ・単年の目標値と実績値 <table><tr><td></td><td>目標値</td><td>R7</td><td>R8</td><td>R9</td><td>R10</td><td>R11</td><td>累計</td></tr><tr><td>居住人数</td><td>7.2 人</td><td>0 人</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0 人</td></tr></table> 【進捗状況】 ・過去に中心市街地で当事業を活用した人の傾向をみると、対象住宅は「分譲マンションの購入」によるものが 95%と大多数を占めている。令和 7 年度は中心市街地外に分譲マンションが新築され、新築の分譲マンションが選択される傾向にあった。また、当事業を活用する子育て世帯は、通学や居住空間の広さ、住宅の価格帯などの面から、中心市街地外のまちなか居住区域（居住誘導区域）内を選択する傾向が強いことも目標未達の要因となった。		目標値	R7	R8	R9	R10	R11	累計	居住人数	7.2 人	0 人					0 人
	目標値	R7	R8	R9	R10	R11	累計										
居住人数	7.2 人	0 人					0 人										

事業の今後について

・事業の利用者を増やすため、今後、様々な方法で情報発信を行うほか、都市機能の維持・誘導に向けた施策について検討し、中心市街地を始めとした、まちなか居住区域（居住誘導区域）への定住を促進していきたい。

●目標達成の見通し及び今後の対策

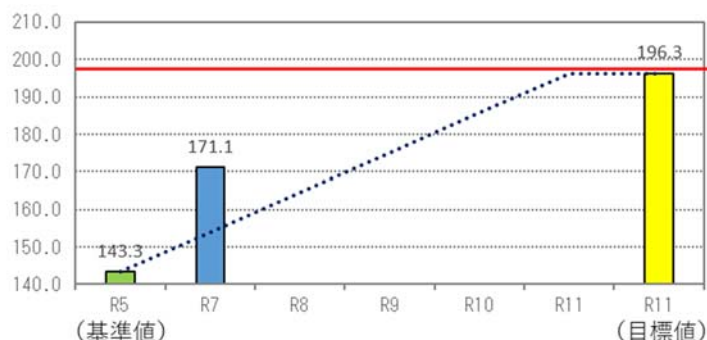
令和6年度から令和7年度にかけてマンション供給がなかったため、居住人口が減少しているが、令和8年度以降はマンション供給が予定されている。引き続き「まちなか建物更新等支援事業」や「まちなか居住区域定住促進事業」などの支援制度を継続し、中心市街地に転入・転居しやすい環境整備することで、目標達成が見込まれる。

今後は、民間による再開発やオフィス誘致などを通じて、住む場所や働く場所を確保し、職住近接で誰にとっても暮らしやすく、快適で居心地のよいまちの実現を目指す。

(3)「目標指標②-2 中心市街地内の公共施設利用者数（万人/年）」

※目標設定の考え方認定基本計画 P. 34～P. 35 参照

●調査結果と分析



目標値
196.3万人

年	(単位：万人)
R5	143.3 (基準年値)
R7	171.1
R8	
R9	
R10	
R11	
R11	196.3 (目標値)

※調査方法：施設所管課へのヒアリング

※調査月：各年度3月末時点

※調査主体：長岡市

※調査対象：中心市街地内の公共施設利用者数

(単位：万人)

	施設名	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
1	アオーレ長岡	90.2	108.8	114.1				
2	山本五十六記念館	2.1	2.4	2.3				
3	河井継之助記念館	1.1	1.1	1.1				
4	戦災資料館	1.3	1.4	1.2				
5	市民センター	3.2	2.4	2.5				
6	まちなかキャンパス	8.1	6.3	5.8				
7	ちびっこ広場	3.2	3.2	3.3				
8	きおくみらい	1.5	1.6	1.3				
9	トモシア	5.3	6.0	6.0				
10	ミライエ長岡	27.2	35.0	33.4				
	合計	143.3	168.1	171.1				
	うち交差点東側（1～4）	94.8	113.6	118.7				
	うち交差点西側（5～10）	48.5	54.4	52.4				

〈分析内容〉

令和7年度の中心市街地内の公共施設利用者数は171.1万人で、基準年から27.8万人増加している。これは、各施設の利用ニーズに対応しながら「アオーレ長岡活用事業」や「トモシア交流支援事業」に取り組んだことや、令和5年度に先行オープンしたミライエ長岡で実施する様々なイベントや活動が着実に定着してきたことが、主な要因と考えられる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

- ①. 4-2（再掲 6-2） 大手通坂之上町地区第一種市街地再開発事業（事業実施主体名：独立行政法人都市再生機構、長岡市）

事業実施期間	平成30年度～令和8年度【実施中】																										
事業概要	市街地再開発事業により、公共施設、事務所、商業施設、集合住宅、駐車場等を整備する。																										
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（市街地再開発事業等） 平成30年度～令和8年度																										
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】59.0万人／年（R11） - ミライエ長岡の年間利用者数 - 人口減少する中で、取組みを継続的に実施することで年間利用者数を維持する。 - ミライエ長岡の目標年間利用者数（R8）59万人 - ミライエ長岡のR5年度年間利用者数27.2万人 【最新値】33.4万人／年（R7） - 単年の目標値と実績値 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>基準値</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値 (万人)</td><td>27.2</td><td>27.2</td><td>59.0</td><td>59.0</td><td>59.0</td><td>59.0</td></tr> <tr> <td>実績値 (万人)</td><td>—</td><td>33.4</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> 【進捗状況】 - ミライエ長岡の利用者数は、目標値より増加した。様々なイベントを開催することで、基準値と比べて利用者数が増加している。							基準値	R7	R8	R9	R10	R11	目標値 (万人)	27.2	27.2	59.0	59.0	59.0	59.0	実績値 (万人)	—	33.4				
	基準値	R7	R8	R9	R10	R11																					
目標値 (万人)	27.2	27.2	59.0	59.0	59.0	59.0																					
実績値 (万人)	—	33.4																									
事業の今後について	- 引き続き、様々なイベントを継続して、利用者数を維持する。 - R8.11月のミライエ長岡フルオープンを契機として、まちなか全体の活性化を図る。																										

- ②. 5-5 アオーレ長岡活用事業（事業実施主体名：NPO 法人ながおか未来創造ネットワーク、長岡市）

事業実施期間	平成24年度～【実施中】
事業概要	市民協働、交流の拠点である「アオーレ長岡」の活用、市民が交流できるイベントの企画・実施等についてのサポートを行う。

国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業 令和 7 年 4 月～令和 12 年 3 月																					
事業目標値・最新値及び進捗状況	※中心市街地活性化ソフト事業のうち市町村の負担額が2千万円以上の事業 【目標値】116.8 万人／年（R11） ・人口減少する中で、取組みを継続的に実施することで年間利用者数を維持する。 ・ミライエ長岡の整備により相乗効果を生み出し、アオーレ長岡の年間利用者数をコロナ禍前までの数値に回復させる。 ・事業効果（アオーレ長岡利用者数の回復量）：アオーレ長岡（集計方法を変更した市民協働センターを除く）の年間利用者数（R1）113.6 万人－（R5）87.0 万人＝26.6 万人／年 ・基準値は令和5年度の利用者数 90.2 万人（市民協働センターを含む） ・事業効果は 26.6 万人 ・目標値は令和 11 年度の利用者数 116.8 万人（市民協働センターを含む） ・5年間で 26.6 万人を増加させるため、単年度で 5.3 万人の増加（26.6 万人÷5 年間＝単年度で 5.3 万人） 【最新値】114.1 人／年（R7） ・単年の目標値と最新値 <table><tr><td></td><td>基準値 R5</td><td>R7</td><td>R8</td><td>R9</td><td>R10</td><td>目標値 R11</td></tr><tr><td>目標値 （万人）</td><td>90.2</td><td>95.5</td><td>100.8</td><td>106.1</td><td>111.4</td><td>116.8</td></tr><tr><td>実績値 （万人）</td><td>－</td><td>114.1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 【進捗状況】 ・利用者数は、目標値より増加した。コロナ禍の影響で大きく減少した利用者数が、令和 3 年度以降は増加傾向である。		基準値 R5	R7	R8	R9	R10	目標値 R11	目標値 （万人）	90.2	95.5	100.8	106.1	111.4	116.8	実績値 （万人）	－	114.1				
	基準値 R5	R7	R8	R9	R10	目標値 R11																
目標値 （万人）	90.2	95.5	100.8	106.1	111.4	116.8																
実績値 （万人）	－	114.1																				
事業の今後について	・引き続き関係機関と連携し、市民交流の場を提供することで、まちなかへの来訪者増加を図る。																					

③. 5-7 トモシア交流支援事業（事業実施主体名：社会福祉法人長岡市社会福祉協議会、長岡市）

事業実施期間	平成 28 年度～【実施中】
事業概要	社会福祉センタートモシアで市民の交流の場を提供するとともに、ボランティア活動を支援し広く発信する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業 令和 7 年 4 月～令和 12 年 3 月
事業目標値・最新値及び進捗状況	※中心市街地活性化ソフト事業のうち市町村の負担額が2千万円以上の事業

	【目標値】5.3 万人／年（R7～R11） ・ 目標値は基準値である令和5年度の利用者数の維持 【最新値】6.0 万人／年（R7） ・ 単年の目標値と最新値 <table><tr><td></td><td>目標値</td><td>R7</td><td>R8</td><td>R9</td><td>R10</td><td>R11</td></tr><tr><td>利用者数 （万人）</td><td>5.3</td><td>6.0</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr></table> 【進捗状況】 ・ 利用者数は、目標値より増加した。コロナ禍の影響で大きく減少した利用者数が、令和3年度以降は増加傾向である。最も利用者数が多かった、令和元年度の70%程度まで回復している。		目標値	R7	R8	R9	R10	R11	利用者数 （万人）	5.3	6.0	—	—	—	—
	目標値	R7	R8	R9	R10	R11									
利用者数 （万人）	5.3	6.0	—	—	—	—									
事業の今後について	・ 引き続き関係機関と連携し、市民交流の場を提供することで、まちなかへの来訪者増加を図る。														

④. 5-4 まちなかキャンパス長岡事業（事業実施主体名：まちなかキャンパス長岡運営協議会、長岡市）

事業実施期間	平成 23 年度～【実施中】														
事業概要	「学び」と「交流」を通じた人づくりを進めるため、「まちなかカフェ」、「まちなか大学」等の講座を開催する。														
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業 令和 7 年 4 月～令和 12 年 3 月														
事業目標値・最新値及び進捗状況	※中心市街地活性化ソフト事業のうち市町村の負担額が2千万円以上の事業 【目標値】5.9 万人／年（R11） ・まちなかキャンパス長岡の年間利用者数 ・目標値は基準値である令和5年度の利用者数の維持 ・ただし、令和6年度に5階を廃止したため、令和5年度の5階の利用者数 2.2 万人を除く （令和5年度の全体 8.1 万人-令和5年度の5階 2.2 万人＝5.9 万人） ・なお、令和8年度のミライエ長岡のフルオープンとともに、まちなかキャンパス長岡の機能はミライエ長岡に含まれる。このため、令和8年以降の利用者数を把握することが不可能となることから、目標値は令和7年のみ 【最新値】6.3 万人／年（R7） ・単年の目標値と実績値 <table><tr><td></td><td>目標値</td><td>R7</td><td>R8</td><td>R9</td><td>R10</td><td>R11</td></tr><tr><td>利用者数 (万人)</td><td>5.9</td><td>6.3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 【進捗状況】		目標値	R7	R8	R9	R10	R11	利用者数 (万人)	5.9	6.3				
	目標値	R7	R8	R9	R10	R11									
利用者数 (万人)	5.9	6.3													

	・利用者数は目標値より増加しており、受講者ニーズに合った講座を開催していること、「学び」「交流」の拠点として広く市民に認知されていることから利用者増につながっている。
事業の今後について	・今後も継続して、満足度の高い講座を開催するとともに、ミライエ長岡を拠点に、未来を担う若者をターゲットにした講座を開催する。

●目標達成の見通し及び今後の対策

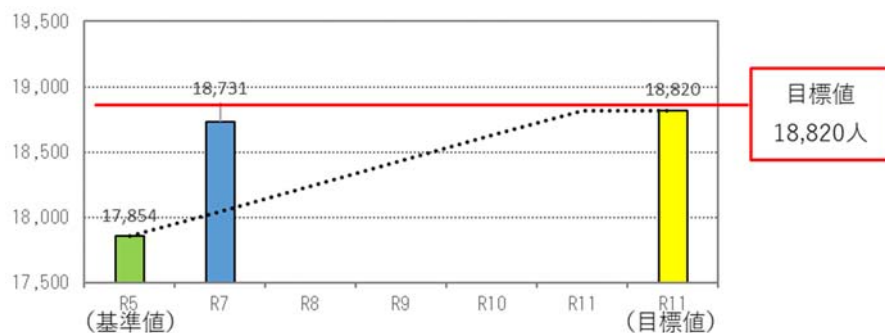
令和7年度の公共施設利用者数は171.1人で、令和5年度のミライエ長岡の先行オープン以降は順調に推移している。引き続き「アオーレ長岡活用事業」や「トモシア交流支援事業」を継続するとともに、令和8年度にグランドオープンするミライエ長岡を拠点に様々な活動や交流を促すことで、目標達成が見込まれる。

今後は、市民が求める中心市街地の将来像である「多様な人が活躍できる場が整っている状態」を実現するため、これまでの取組みを継続し、現状の利用者数を維持したうえで、ミライエ長岡を核に多様なイベントを展開し、まちで活動する人の交流機会や活動場所を確保する。

(4)「目標指標③ 大手通交差点より西側の歩行者・自転車通行量（平日）（人/日）」

※目標設定の考え方認定基本計画 P. 36～P. 38 参照

●調査結果と分析



年	(単位：人)
R5	17,854 (基準年値)
R7	18,731
R8	
R9	
R10	
R11	
R11	18,820 (目標値)

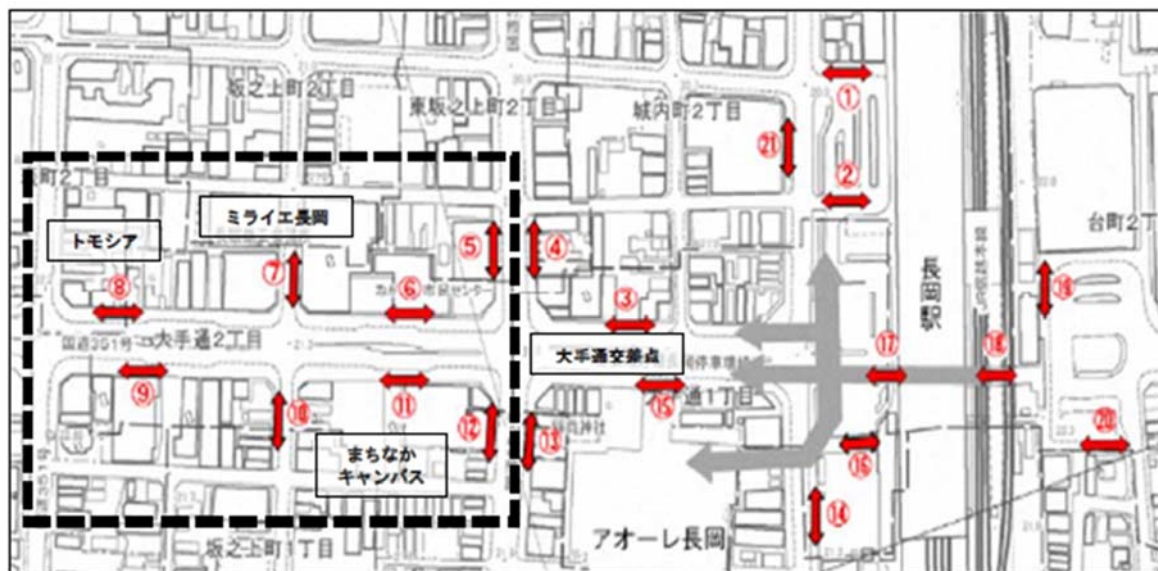
※調査方法：平日の午前7時から午後8時までの通行量を測定

※調査月：各年10月

※調査主体：長岡市

※調査対象：中心市街地区域内のうち大手通交差点から西側の計8か所における
自転車及び歩行者

※測定地点位置図



目標指標の調査地点（大手通交差点より西側）

※測定地点毎の測定結果（５～１２番の８地点）

（単位：人）

	R5 (基準年度)	R6 (計画前年度)	R7 (1年目)	R8 (2年目)	R9 (3年目)	R10 (4年目)	R11 (5年目)
5 旧三井生命ビル前	1,840	1,976	1,808				
6 市民センター前	3,281	3,351	2,480				
7 旧長岡商工会議所前	2,219	2,101	3,618				
8 ながおか町口御門前	3,439	3,572	3,506				
9 ショップイン大手前	1,790	2,309	2,125				
10 旧バートン前	748	1,012	684				
11 大手イースト前	3,094	2,985	3,032				
12 いろはにほへと前	1,443	1,396	1,478				
合計	17,854	18,702	18,731				

〈分析内容〉

令和７年度の歩行者通行量は 18,731 人で、基準年から 877 人増加している。特に旧商工会議所前が基準年から 63%増加しており、「大手通坂之上町地区第一種市街地再開発事業」で整備したミライエ長岡の先行オープンにより、人の流れが西側へと広がったものと考えられる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

- ①. 4-2（再掲 6-2） 大手通坂之上町地区第一種市街地再開発事業（事業実施主体名：独立行政法人都市再生機構、長岡市）

事業実施期間	平成 30 年度～令和 8 年度【実施中】
事業概要	市街地再開発事業により、公共施設、事務所、商業施設、集合住宅、駐車場等を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（市街地再開発事業等） 平成 30 年度～令和 8 年度
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】494 人／日（R11） （ア）「大手通坂之上町地区第一種市街地再開発事業」によるミライエ長岡の整備 ・「米百俵プレイス西館」整備前後の歩行者通行量（地点⑥,⑦,⑧）の増加量 整備後（R5）の歩行者通行量 8,939 人／日【基準値】 一整備前（R4）の歩行者通行量 7,667 人／日 ＝1,272 人／日 ・ミライエ長岡の平均利用者数：1,163 人／日（ミライエ長岡の R5 実績） ・歩行者人数影響係数：1,272 人／日÷1,163 人／日＝1.09 ・社会資本整備総合計画におけるミライエ長岡の目標年間施設利用者数：590,000 人／年（R10） ・ミライエ長岡の 1 日当たり目標施設利用者数：590,000 人／年÷365 日＝1,616 人／日（R11 も維持する想定） ・事業効果：（1,616 人／日－1,163 人／日）×1.09＝494 人／日【目標値】 ・494 人／日÷5 年＝単年の目標値（増加量）は年 99 人の増加 【最新値】771 人／日（R7） ・単年の目標値と実績値

	・歩行者通行量（地点⑥,⑦,⑧）3地点の合計 <table><tr><td></td><td>基準値</td><td>R7</td><td>R8</td><td>R9</td><td>R10</td><td>R11</td></tr><tr><td>目標値 (増加量)</td><td>－</td><td>99</td><td>198</td><td>297</td><td>396</td><td>494</td></tr><tr><td>増加量 (3地点)</td><td>－</td><td>771</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>実績値 (3地点)</td><td>8,939 (R5)</td><td>9,710</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 【進捗状況】 ・歩行者通行量は、目標値より大きく増加した。 ・ミライエ長岡の効果で、歩行者通行量が大きく増加している。		基準値	R7	R8	R9	R10	R11	目標値 (増加量)	－	99	198	297	396	494	増加量 (3地点)	－	771					実績値 (3地点)	8,939 (R5)	9,710				
	基準値	R7	R8	R9	R10	R11																							
目標値 (増加量)	－	99	198	297	396	494																							
増加量 (3地点)	－	771																											
実績値 (3地点)	8,939 (R5)	9,710																											
事業の今後について	・令和8年度の完了に向けて、引き続き再開発事業に取り組む。 ・ミライエ長岡を核に戦災資料館や明治公園などと連携して、まちなかの魅力向上を図る。																												

②. 4-12（再掲 6-6） まちなか建物更新等支援事業（事業実施主体名：まちづくりを目指す団体、民間事業者、長岡市）

事業実施期間	平成 28 年度【実施中】																								
事業概要	老朽建築物や空き地の共同化による市街地環境の整備・改善を行う事業者に対して事業費の一部を支援する。																								
国の支援措置名及び支援期間	なし																								
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】204 人／日（R11） ・「まちなか建物更新等支援事業」によるマンション供給 ・「まちなか建物更新等支援事業」により供給されるマンションの入居者： 60 戸（中心市街地区域内の新築マンション供給戸数（直近4棟の平均）） ×平均世帯人員 1.7 人（中心市街地区域内の1世帯当たり人口（R5）） ＝102 人 ・事業効果：102 人×2回/日＝204 人/日【目標値】 ・204 人÷5年＝単年の目標値（増加量）は年 41 人の増加 【最新値】0人／日（R7） ・単年の目標値と実績値 ・増加量は新築マンション供給戸数×1.7 人×2回で算出 <table><tr><td></td><td>R7</td><td>R8</td><td>R9</td><td>R10</td><td>R11</td></tr><tr><td>目標値 (増加量)</td><td>41</td><td>82</td><td>123</td><td>164</td><td>204</td></tr><tr><td>増加量 (算出)</td><td>0</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>実績値 (戸数：延べ)</td><td>0</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 【進捗状況】 ・歩行者通行量は、単年の目標値を達成していないが、本事業を活用した民間商業ビルが建設中で、R10 年度に完成予定である。		R7	R8	R9	R10	R11	目標値 (増加量)	41	82	123	164	204	増加量 (算出)	0					実績値 (戸数：延べ)	0				
	R7	R8	R9	R10	R11																				
目標値 (増加量)	41	82	123	164	204																				
増加量 (算出)	0																								
実績値 (戸数：延べ)	0																								

	・本事業は活用していないが、中活区域内で民間マンションが建設中である。
事業の今後について	・この事業を活用したマンション供給が実現しなくとも、この事業が存在することで、開発検討の契機になるとともに、制度活用に関する相談対応を通じて、民間開発の初期段階の相談支援に繋がるため、引き続き制度を継続する。

●目標達成の見通し及び今後の対策
 令和7年度の歩行者通行量は18,731人で、順調に推移している。引き続き「大手通坂之上町地区第一種市街地再開開発事業」によるミライエ長岡の整備などに取り組むことで、目標達成が見込まれる。
 今後は、これまでの取組みを継続し、現状の通行量を維持したうえで、ミライエ長岡を核として、現在整備中の明治公園や戦災資料館などと連携し、まちなかの魅力向上を図り、長岡駅周辺の賑わいを西側に繋ぎ、まち全体に広げる必要がある。